

令和2年度 神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者

更新研修

〔事前課題〕 説明

令和2年度 神奈川県 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 更新研修の事前課題です。
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（以下「サビ児管。」）としてのこれまでの業務を振り返るとともに、知識・技術の更なる向上を図るため、事前に自己の振り返りをさせていただきます。
以下の内容をよくお読みいただき、お間違えのないようご準備ください。

◎研修当日までに準備する資料

- ①事前課題1 6部（自分用、グループメンバー用、ファシリテーター用）
- ②事前課題2 6部（ // ）
- ③事前課題3 6部（ // ）
- ④各法人・事業所のパンフレット・紹介資料等 6部（ // ）
- ⑤研修資料の事前読み込み

①事前課題1 【サービス（支援）提供事業所としての自己検証（振り返りシート）】

- ・サビ児管自身のスキルアップを図ることのみ視点が向きがちですが、業務を行う環境を整えることも必要です。
- ・ここでは、サビ児管として業務が行いやすいよう事業所の組織体制（風土）の良いところや工夫について確認していきます。
- ・「良い取り組み」の視点として、①情報伝達や共有方法（日常の業務的コミュニケーション、会議等）、②サビ児管のフォローアップ体制（サビ児管が困ったときの相談できる体制）、③チームアプローチ（管理者や看護師、支援員など事業所内の連携の工夫）などについて記入願います。

②事前課題2 【サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（サビ児管） 振り返りシート（自己検証用）】

- ・サビ児管に求められる役割業務に対して、現時点でどこまで行えているのかを振り返り、役割業務を理解し、不十分な点があれば改善していく方法を考えるものであって評価するものではありません。
- ・0～10の点数に基準はありませんので、どのくらいできているのかは、ご自身の感覚でかまいません。
- ・設問の「0～10点をつけた理由」については、その点数をつけた理由（できている点を中心に）を簡潔に記入願います。
- ・設問の「演習等で学びたいこと」については、10点に近づけるために、演習等を通じて学びたいこと等を記入願います。

③事前課題3【サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（サビ児管）

振り返りシート（連携用）】

- ・サビ児管として、関係機関との連携を現時点でどこまで行えているのかを振り返り、役割業務を理解し、不十分な点があれば改善していく方法を考えるものです。関係機関の役割・業務を評価するものではありません。
- ・0～10の点数に基準はありませんので、どのくらいできているのかは、ご自身の感覚でかまいません。
- ・設問の「0～10点をつけた理由」については、その点数をつけた理由（できている点を中心に）を簡潔に記入願います。
- ・設問の「演習等で学びたいこと」については、10点に近づけるために、演習等を通じて学びたいこと等を記入願います。
- ・4. 自立支援協議会への参加の①は、自身の理解度についての確認です。

④各法人・事業所のパンフレット・紹介資料等

⇒※現在、勤務している事業所の情報（法人・事業所の概要を短時間で把握できるパンフレット・資料等）を持参ください。現在勤務されていない方については、不要とします。

⑤研修資料の事前読み込みについて

本研修では、障害者福祉施策の最新の動向について講義を行います。限られた時間の中で共通理解を踏まえて研修を実施する必要があるため、必ず以下のサイトに掲載されている資料を熟読の上、研修に臨んでください。なお、この資料は本研修受講当日に配布されるテキストの一部になりますので、研修当日に持参していただく必要はありません。

<研修資料掲載先>

国立障害者リハビリテーションセンター学院 ホームページ

⇒令和元年度 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修 資料公開

⇒【O3 講義】（相談支援従事者養成研修初任者研修）

<資料名>

- ・「障害者総合支援法・児童福祉法の理念・現状とサービス提供のプロセス及びその他関連する法律等に関する理解」
- ・「障害者総合支援法・児童福祉法における相談支援（サービス提供）の基本」

http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/2019/servicekanri_siryu.html

<注意事項>

※事前課題を忘れてしまった場合には、研修の受講ができませんのでお気を付けください。

※作成した課題は研修当日の朝にグループファシリテーターが回収します。

※演習では、事前課題をもとにグループ演習を進めていきますので、必ずご自身が作成し、提出してください。